

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

東洋経済に掲載：町田の給食牛乳 放射能汚染と私の取り組み

経済専門誌として有名な「週刊 東洋経済」の 10 月 29 号 (10/24 発売) に「給食の牛乳からセシウム 説明を怠る明治と町田市」(2 ページ分) が掲載され、大きな話題になっています。放射能汚染の新たな広がりへの懸念と、メーカー(明治)の情報非開示と町田市長が回答を拒否した対応をガバナンスの問題として批判する内容となっています。私は、この間いち早く、牛乳や学校給食食材の放射性物質検査の必要性を訴え、独自にその測定結果を発表してきましたが、私の取り組み意義を大きく評価してくれた記事になっています。今後は雑誌に取り上げられた意義を実現するのが議員の役割と思っています。



武蔵野市は 1 ベクレルで牛乳中止

武蔵野市は、自前で給食食材の放射性物質を測定していましたが学校給食用牛乳から 7 ベクレルが検出されたことで、即座に、その牛乳の供給を中止しました。町田市は自身で放射性物質の含有量測定をせず、供給メーカー(明治)もその測定結果を一切公表しないやり方とは大きな違いです。

陸上競技場はサッカー専用競技場

町田市は野津田にある陸上競技場を J リーグ仕様のサッカーの試合ができるように改修している最中です。J リーグ(ただし、J リーグでなく、正式には J2) 昇格に欠かせないとして、町田市はスタンドの大幅改修や照明灯の設置をはじめ総額 40 億円を投入してきました。その成果もあってか、地元チームであるゼルビアはこれまでは好戦績で試合を進めています。

そこで、来年度早々からその要求基準を満たす為に、実況中継用施設を仮設で上乘せ設置する構想が市議会全員協議会に示されました。行政の説明ではその陸上競技場の指定管理者(日本体育施設)がリース建設するもので、建設完成後に、町田市が年間委託費を上乘せして払う方式であり、市議会としては陸上競技場の指定管理費の予算額を来年 3 月の予算案全体の中で審議することになるでしょう。実質、議会審査を軽視したやり方です。

思うに、ゼルビアが J2 昇格した後の町田市の負担増大が懸念されます。市長や副市長の説明では、J2 昇格で町田への外来者が増え観光面での貢献が高いと見っていますが、J リーグでも人集めに苦しんでいる中で、町田市の金遣いについては先行きが心配されます。



★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

中町 1-20-23

☎042-724-2127



双方向の情報交流

障がい者就労事業の取組について

今回、私は社会福祉法人ウィズ町田様が運営されていらっしゃる就労支援センターらいむ様のところへ訪問させて頂きました。らいむ様は作業所等で日中活動を行うことや、一般就労を希望されている障害者の方への支援等を行っていらっしゃいます。私はそちらで理事長を務めていらっしゃる天野貴彦様からお話を聞かせて頂いたのですが、それらの話はどれも今まで私が知らなかったことばかりでした。

例えば、1万5千円という金額が何を表わすのか。これは、障害者の方が作業所等で日中活動を行うことで毎月支払われるお給料の金額です。障害者の方には障害年金として毎月、障害等級が第一級の方は8万2千円が、第二級の方には6万6千円が支払われているそうなのですが、グループホームで生活するためには約11万円が必要なのだそうです。

また、49%という数字は障害者雇用促進法に則って、雇用する労働者の1.8%に相当する障害者の方を雇用している企業の数を表しています。平成22年の日本の実雇用率は1.68%でした。企業の半分以上が障害者雇用促進法を守っていないというのが現状なのです。日本のように、法定雇用率を定めている国はいくつかあり、イタリアは7%、フランスは6%、ドイツは5%、韓国は3%としているそうです。いずれの国も日本よりも高い数値を設定しており、私はここに日本の障害者に対する支援の意識の低さを感じてしまいました。

また、定期的に発行されているwith町田というものがあるのですが、それを拝見していた際にも驚かされたことがありました。メー

ル配達便のお仕事をなさっている方が取り上げられていた記事があったのですが、その方は地図をしっかりと覚え、一通一通を責任を持って届けていました。私は障害者の方がこんなに色々な仕事をする事ができることに感動しました。そして、より障害者の方が住みやすい社会を実現させるためにも、こういったことをもっとたくさんの人たちに積極的に広めるべきなのではないかと思いました。障害者の方々が抱えている障害がどういったことであるのかということをもっと日本の社会全体で共有するべきなのではないでしょうか。



これまでの私は、福祉は自分とはあまり関わりのない話であるような気がしていましたし、障害者の方に対してもネガティブな考えばかりしていました。しかし、with町田に載っていた障害者の方々はどの人も輝いて見えました。そして、私のこれまでの考えこそが、障害者の方に対する差別に繋がってしまっているように思いました。天野さんは、話を聞くだけでは分からないことが現場にはあると仰っていたので、今度は実際に作業所に見学に行ってみたいと思いました。

(記 第29期研修生 専修大学2年 福光智子)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。会議や打ち合わせのある日は、「志政クラブ室」もしくは、「正副議長室」に居ります。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail: yoshidaben@gmail.com